

中央プラトー地方給水施設・衛生改善プロジェクト

安全な水へのアクセス率が低いサブサハラ・アフリカにおいて、JICAは、行政機関や民間セクターを巻き込んだ維持管理能力強化を技術協力にて支援しています。

ブルキナファソの中央プラトー州および南部中央州では、2012年に無償資金協力により300基の井戸を完成させたのと並行して、技術協力プロジェクト「中央プラトー地方給水施設・衛生改善プロジェクト」を2009年から実施しています。

ブルキナファソの特徴は、各井戸に設置された水管理委員会が、能力や住民の参加意識が低いため、運営が立ち行かなくなることのないよう、複数の水管理委員会を束ねた水利利用者組合を各村落単位でつくり、行政機関から技術支援を受けながら、傘下の委員会間の互助的な維持管理制度を目指している点にあります。これにより、1つの水管理委員会では対応できないような大規模な修理にも組合として対応でき、井戸の稼働率が向上することになります。また、地方自治体、水利利用者組合、ポンプ修理業者といった主要関係者間での協定・契約の締結により、各関係者の役割と責務を明確にした給水施設維持管理体制の構築を目指しています。本プロジェクトでは、この新たな制度の利点を住民に粘り強く説明しながら水利利用者組合の設立とその能力強化を進め、当初中央プラトー州内3県でパイロット的に開始した設立活動が州全域に普及し、さらに全国展開を見据えるまでに至っています。また、当初より衛生啓発活動をプロジェクトに組み込み、住民が安全な水の大切さを理解し、手洗いなどの衛生的な行動が習慣として定着するよう支援しています。



ブルキナファソの村落部では村ごとに共有の井戸を設置。女性や子供が重いタンクを持って何キロも歩くことも



村の人々に対して衛生活動の普及を進めるのがボランティアの役割